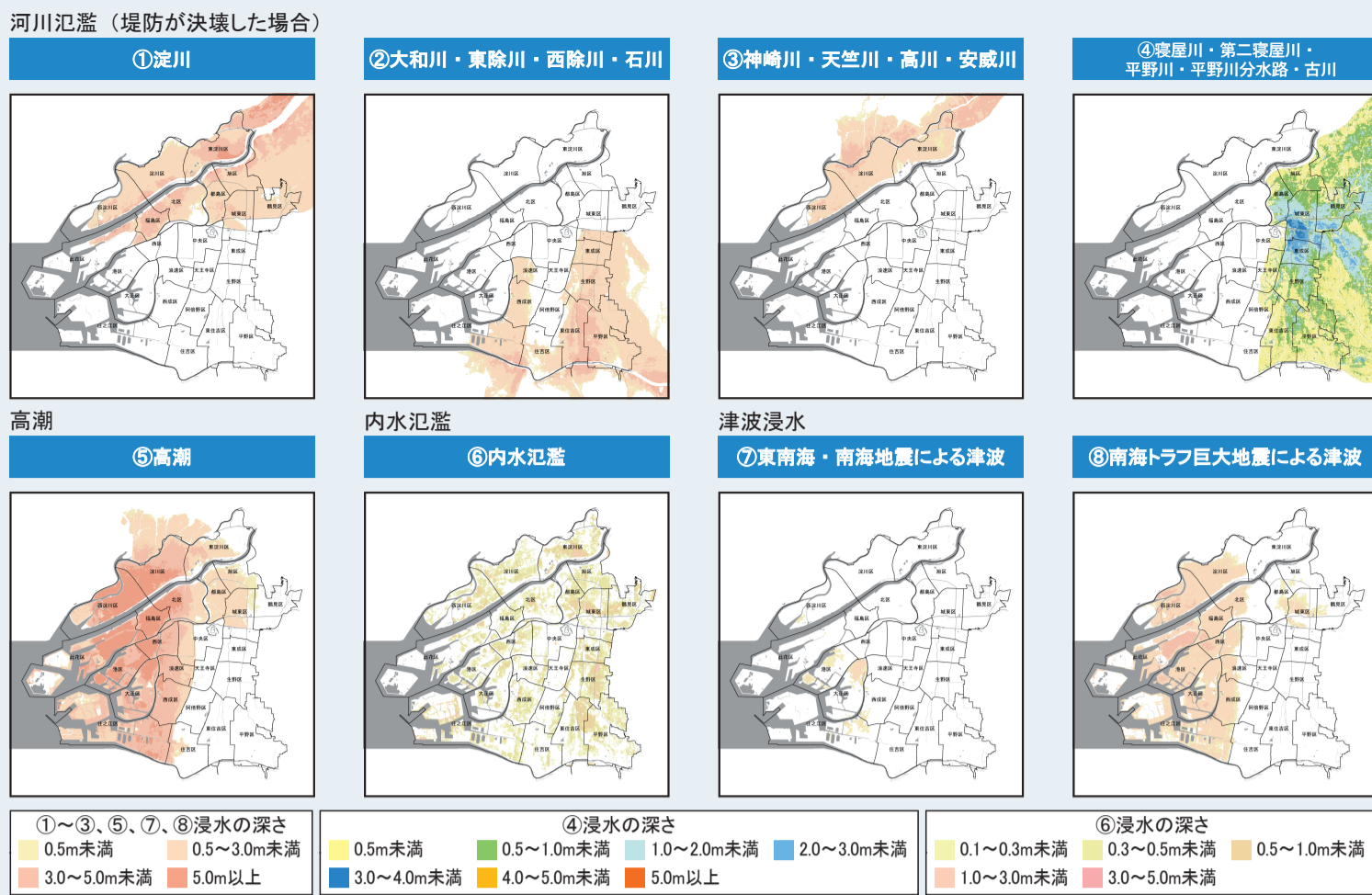


大阪市全域の浸水想定図



想定している雨や津波の計算条件

災害種別	浸水想定種別	想定条件	公表年月	問い合わせ先	電話番号
河川氾濫	① 淀川	24時間総雨量360mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年程度)	平成29年6月	国土交通省近畿地方整備局 淀川川事務所	072-843-2861
	大和川	12時間総雨量316mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年程度)	平成28年8月	国土交通省近畿地方整備局 大和川川事務所	072-971-1381
	② 東淀川・西淀川	24時間総雨量904.1mm 1時間最大雨量102.5mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年以上)	令和元年11月	大阪府富田林土木事務所 大和川川事務所	0721-25-1131
	石川	24時間総雨量724mm 1時間最大雨量195.5mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年以上)	令和3年3月	大阪府西大淀治水事務所	06-6541-7771
高潮	⑤ 高潮	24時間総雨量737mm 1時間最大雨量81.1mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年以上)	令和2年1月	大阪府西大淀治水事務所	06-6541-7771
	③	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量142.6mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年以上)	令和2年1月	大阪府池田土木事務所	072-752-4111
	高川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量145.4mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年以上)	令和2年1月	大阪府池田土木事務所 大阪府茨木土木事務所	072-752-4111 072-627-1121
内水氾濫	⑥ 内水氾濫	24時間総雨量776mm 1時間最大雨量189mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年以上)	令和2年3月	大阪府茨木土木事務所	072-627-1121
	④ 寝屋川・第二寝屋川・平野川 平野川分水路・古川	24時間総雨量683mm 1時間最大雨量138.1mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年以上)	平成31年3月	大阪府寝屋川水系改修工務所	06-6962-7661
津波	⑦ 東南海・南海地震津波	マグニチュード9.6程度の地震が発生し、防波堤（夜間、開放されているもの）が崩壊した場合に津波による浸水が起きた場合（高潮時を想定）	平成16年3月	大阪府港湾計画課	06-6615-7782
	⑧ 南海トラフ巨大地震津波	マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合（防波堤の沈下や防波施設の閉鎖状況を考慮）	平成25年8月	大阪府危機管理室防災企画課	06-6944-6487

このパンフレットの作成者：大阪市危機管理室（TEL 06-6208-7384）
このパンフレットについては、大阪市危機管理室のホームページでもご覧いただけます。
<https://www.city.osaka.lg.jp/kikanrishtsu/>

令和3年3月

マイタイムラインってなに？

「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をやるのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

わが家の避難計画 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

1 避難先 避難先を確認してメモしておきましょう。状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう。

原則： **逃げ遅れたら・・・** **その場々で命を守る場所へ**

① 避難先① 早めの避難先
■自宅・親戚宅・知人宅・職場など（最寄りの浸水しない安全な場所）

② 避難先② 最寄りの避難所（最寄りの浸水しない安全な場所）

③ 避難先③ 最寄りの水害時（津波）避難ビル（最寄りの浸水しない安全な場所）
■高い建物や高い場所（最寄りの浸水しない安全な場所）

2 避難を開始するまでに何をするかを 考えましょう。

3 いつ避難を開始するかいつ何をやるか を記入しましょう。

▶ ② で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。
▶ 避難のタイミングを書き込みましょう。

家が家の避難計画

大雨が予測されるとき

警戒レベル1 早期注意情報
警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報
警戒レベル3 危険な場所かも 高齢者等避難Ⅰ
警戒レベル4 危険な場所かも 全員避難Ⅱ
警戒レベル5 浸水危険 確保

緊急度

記入欄 「いつ避難する？」 「いつ何をやる？」
例：非常持ち出し袋を再確認しておく（お母さん）
例：避難場所を再確認しておく（みんな）
例：おばあちゃんとお母さんが親戚の家で避難する この段階での避難先の目安（避難先①、②）
例：〇〇小学校へ避難する【お父さんと子どもたち】 この段階での避難先の目安（避難先①、②）
例：この段階での避難先の目安（避難先③）

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

避難完了後 避難後は、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

連絡方法 家族の集合場所

避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。

大阪市 水害ハザードマップ

このハザードマップの使い方

使いかた1 お住まいの地域は、どのような災害の危険性があるか確認しましょう

大雨・台風時にはどの河川の氾濫により浸水するか、高潮の影響を受けやすいか、地震時には津波の影響を受けるおそれがあるかなど、ハザードマップで確認しましょう。

使いかた2 災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう

災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。大雨・台風、津波の災害ごとに命を守るための避難行動（避難タイミングと避難先）を確認しましょう。

使いかた3 命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃からの備えを確認しましょう

災害時には様々な情報が発信されます。いざというときにすぐ行動できるよう、掲載している情報や、書き込み式のマイタイムラインを活用し、日頃から備えておきましょう。

避難先・集合場所
災害の種類ごとに避難先・集合場所を確認し、記入しておきましょう。

大雨のとき 洪水
台風の高潮

災害時の連絡先

阿倍野区役所	06-6622-9986	道路（平野工務所）	06-6705-0102
阿倍野区保健福祉センター	06-6622-9882	電気（関西電力全営業所共通）	0800-777-8810
警察署	110	ガスもれ（大阪ガス）	0120-0-19424
消防署	119	電話の故障（NTT）	113
下水道（平野管理センター）	06-6705-0342	ひかり電話・携帯電話からは	0120-444113
水道（お客さまセンター）	06-6458-1132		

大雨で河川氾濫が起きそうなとき

災害時の情報（警戒レベル）

警戒レベル1 気象庁が発表 早期注意情報
心構えを高める
たとえば・・・
◎気象情報に注意

警戒レベル2 気象庁が発表 洪水注意報、大雨注意報等
避難行動を確認
たとえば・・・
◎ハザードマップで避難経路を再確認
◎周辺の雨の状況に注意

警戒レベル3 市が発令 危険な場所から 高齢者等避難
高齢者等（周囲に浸水を懸する人）は避難
たとえば・・・
◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない（3階以上を含む）より安全な場所へ
◎最寄りの避難所へ
◎警戒レベル4 全員避難に備えて非常持ち出し袋を再確認

警戒レベル4 市が発令 危険な場所から 全員避難！！
速やかに避難先へ避難
たとえば・・・
◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない（3階以上を含む）より安全な場所へ
◎最寄りの避難所へ
◎避難の途中で危険を感じたら、近くの安全な場所へ
たとえば・・・
◎最寄りの避難所へ
◎最寄りの避難場所（水害時（津波）避難ビル）へ
◎高い建物や高い場所へ

警戒レベル5 市が可能な範囲で発令 緊急安全確保
命の危険 直ちに安全確保！
たとえば・・・
◎最寄りの避難場所へ
◎最寄りの避難場所（水害時（津波）避難ビル）へ
◎高い建物や高い場所へ

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

避難はどうする？

浸水が浅い、家屋倒壊の危険性が低いなど自宅にとどまれる方
浸水が深い、家屋倒壊の危険性が高いなど自宅にとどまらない方

無理に外に出ない
風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。

早めの避難
浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の1つです。

情報伝達について

情報の受け取りかた

防災情報メール 市の防災や災害時に必要な情報を、登録した携帯電話やパソコンメールで配信

事前登録が 必要です

緊急速報メール 緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話に配信します

受け取れる 設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話を事前に確認

Yahoo! 防災速報アプリ 避難情報や地震に関する情報をプッシュ通知でお知らせします

地域の設定で「大阪市〇〇区」を設定しておく、と大阪市内に関する情報が受け取れます。

情報の調べかた

- 防災スピーカーの放送が聞き取れなかった場合：防災行政無線テレホンサービス（06-6210-3899） 通話料がかかります。
- 災害時には、NHKテレビ放送の画面で、データ放送ボタンの「dボタン」を押すと、避難情報発表状況や避難所開設情報等が視聴できます。

緊急時のサイレンのパターン（防災スピーカー）

サイレンパターンを視聴できます

大阪府危機管理室 ホームページ

安否確認用の伝言サービス

災害用伝言ダイヤル 171 災害時に伝言の録音や再生ができます。

体験利用が可能な日
毎月1日、15日、（24時間）
1月1日～3日、（24時間）
防災ボランティア週間
（1月15日午前9時～21日午後5時）
防災週間
（8月30日午前9時～9日午後5時）

災害用伝言板

Web 171 (NTT)
URL <https://www.web171.jp>

ソフトバンク / Y!mobile
URL <http://dengon.softbank.ne.jp>

NIT docomo
URL <http://dengon.docomo.ne.jp>

J-anpi 安否情報まとめて検索
各社の災害用伝言板等に登録された安否情報をまとめて検索することができます。
URL <https://anpi.jp/>

記録的な台風が近づいているとき（高潮）

災害時の情報（警戒レベル）

警戒レベル3 市が発令 危険な場所から 高齢者等避難
市が可能な範囲で発令 緊急安全確保
警戒レベル5 相当 市が発令 緊急安全確保

みなさんの命を守る行動

避難はどうする？
浸水が浅いなど、自宅にとどまれる方
無理に外に出ない
風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。

浸水が深いなど、自宅にとどまらない方
早い段階で避難
浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の1つです。

避難するときの注意点
浸水より高い場所へ
強風の中での運転や避難は危険

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

津波が発生したとき 避難はどうする？

できるだけ早く、浸水被害のない場所へ
揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、浸水被害のない、場所へ避難しましょう。

避難するときの注意点
大きな揺れ、ゆっくりとした揺れを感じたら、海岸や河川から離れ、避難しよう
津波警報が出ているあいだは避難を続けよう

津波情報

予想される津波の高さ	警報の名称	みなさんの対応
数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の発表	
10m 超	巨大	●できるだけ早く、高いところへ
10m 5m<高さ≤10m		
5m 3m<高さ≤5m	高	●逃げ遅れたら、高い建物、高い場所へ駆け上がる
3m 1m<高さ≤3m		
1m 20cm≤高さ≤1m	（表記しない）	●津波情報に注意してください